

ちょうりゅう
■重踊流について■

りゅうきゅうぶよう ちょうりゅう
「琉球舞踊 重踊流」は、しだふさこ志田房子（重要無形文化財「琉球舞踊立方」
かつこにんていほじしゃ各個認定保持者）を初代宗家とし、琉球舞踊の普及継承・創作活動をおこな
を行っています。

しー かい
■子の会について■

しー かい
「子の会」は、国立劇場おきなわ組踊研修修了者で構成された会です。
ねんかん3年間の研修修了後も、互いに自らの技芸の向上を目指すことを目的に
せつりつ設立されました。
くみおどり組踊の伝承者としての活動を通して、文化遺産である組踊をはじめとする
おきなわ沖縄の伝統芸能の世界を多くの人に知ってもらい、それを次世代へ継承
していくことに精力的に取り組んでいます。

しゅつえん
■出演■

りゅうきゅうぶよう ちょうりゅう
琉球舞踊「重踊流」
おきなわでんとうくみおどり 沖繩伝統組踊「子の会」

りゅうきゅうぶようかんしゅう
■琉球舞踊監修■

しだふさこ志田房子 「琉球舞踊立方」各個認定保持者（人間国宝）

くみおどりがんしゅう
■組踊監修■

みやぎのうほう宮城能鳳 「組踊立方」各個認定保持者（人間国宝）

きかくせいさく
■企画制作■

かぶしがいいしゃ株式会社 BOX4628（ボックスよろづや）

ぶんかげいじゅつ「文化芸術による子供育成推進事業 - 巡回公演事業 -」

わ我が国の一流の文化芸術団体が、しょうがっこう小学校・ちゅうがっこう中学校等において公演し、こえん子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を
え得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の
こうじょう向上につなげることを目的としています。

じぜん事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たち
にも参加してもらいます。

れいわ ねんど
令和4年度
ぶんかげいじゅつ文化芸術による子供育成推進事業 — じゅんかいこうえんじぎょう巡回公演事業 —

でんとうげいのう りゅうきゅうぶよう くみおどり
おきなわ伝統芸能『琉球舞踊』と『組踊』

◇ 1 部 ◇

りゅうきゅうぶよう じょうえんさくひん よ だけ こてんおんなおど
◇ 琉球舞踊 上演作品 『四つ竹』古典女踊り
りゅうきゅうぶよう（琉球舞踊：国指定重要無形文化財）

りゅうきゅうぶよう じょうえんさくひん かいせつ
◇ 琉球舞踊 上演作品の解説とおはなし

おきなわ ◇『沖繩ことばクイズ』『楽器紹介』

おきなわおんがく『沖繩音楽ミニコンサート』

あさどや ◇『安里屋ユンタ』エイサー演舞発表コーナー
う 打って！
うた 唄って！
おど 踊ろう！

◇ 2 部 ◇

くみおどり じょうえんさくひん
◇ 組踊 上演作品のあらすじとおはなし

くみおどり じょうえんさくひん まんざいてきうち あだうちもの
◇ 組踊 上演作品 『万歳敵討』仇討物
くみおどり（組踊：国指定重要無形文化財）





■琉球舞踊とは

沖縄は、1879(明治12)年に沖縄県が設置されるまで、琉球王国として独自の文化を作り上げてきました。

その文化を受け継いだ琉球舞踊は次の3つに分けられます。

①琉球王朝の儀式用の音楽として士族によって育まれた

「古典舞踊」

②琉球王朝が崩壊した後に、古典舞踊を基本としてつくられた

大衆的な「雑踊」

③戦後につくられた「創作舞踊」

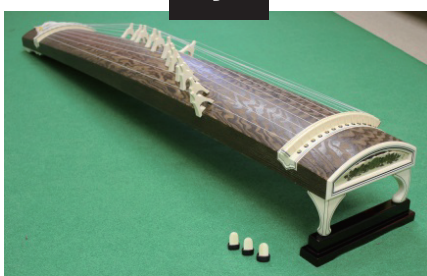
さんしん
三線



こきゅう
胡弓



こと
箏



ふえ
笛



ひらつりだいて
平吊太鼓



しめだいて
締太鼓

■組踊とは

台詞、音楽、踊り(所作)によって構成される演劇(歌舞劇)

のことです。組踊は、琉球(今の沖縄県)の新国王認証の

ため中国から派遣された冊封使をもてなすために玉城朝薫

によって作られ、1719年に初めて上演されました。

朝薫はこれまでの琉球の芸能をもとに能・狂言や歌舞伎、

あるいは中国の演劇からヒントを得て、琉球に残る古い

伝説や出来事を題材に組踊を作り上げたのです。

今年2022年は、組踊がはじめて上演されてから303年目

となります。